

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		文書事務費[市政情報コーナー]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 2	文書費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	文書 課 文書 係					課長名	阿部 晴彦				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3				
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書(ページ)	127				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				→ 全市民						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	市民に市政情報を積極的に提供し、①市政に対する関心を深め、②協働による市政運営を図る。				→ ①来場者数(1か月当たりの概算) ②有償刊行物販売数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	市民が、市政に関するすべての情報をいつでも入手できる場所を確保する。				→ 蔵書(資料)数						
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績	当該年度		成果目標			
					平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標		
対象指標		①の数値	人	約86,000	約86,000	約86,000	/				
成果指標		②の数値	①人 ②冊	①100 ②1	①100 ②1	①20 ②0					
目標		②の目標値	人	100	100	100	100	100			
		目標値設定の考え方 市政情報の積極的な提供を行う。									
活動指標		③の数値	冊	3,259	3,285	3,305	/				
3 経費	事業費(実績)		円	1,054,612	1,124,952	1,287,807				※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	1,035,992	1,102,442	1,240,627					
		特定財源(国・都・他)	円	18,620	22,510	47,180					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	1,885,612	1,962,952	2,112,807						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成24年度								
	(2) 環境の変化		行政情報コーナーの充実の要望があり、市政情報コーナーとして平成24年9月に、本庁舎3階文書課北側に開設。スペースを広げ本棚を設置、閲覧用机も大きくし、電子複写機を設置した。また、市の有償刊行物の販売も行っている。このため、市の刊行物については概ね市政情報コーナーで閲覧できる。								

事業名称	文書事務費[市政情報コーナー]			
担当部署・課長名	文書	課	文書	係 課長名 阿部 晴彦

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） <input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 (1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 今後も各課の刊行物を速やかに市民に提供できるようにする。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 市政情報コーナーに設置できる市政資料について、速やかに提供する旨の通知を年度当初に送付しており、引き続き実施した。また、提供がされない資料については、随時担当課に連絡し提供依頼をした。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市政情報コーナーは、東大和市情報公開条例第29条に基づき、市政に関する情報を発信する施設として開設した。本事業は社会情勢的に、毎年約200万円の支出を負担する価値はあるが、利用者数を鑑みると極めて需要が低く、支出の割に合わない成果と判断せざるを得ない。同敷地内の中央図書館では、図書館法第3条に基づき、地方行政資料を収集し一般公衆の利用に供している。また、全庁的に電子的な情報発信に力を入れていることもあり、物質的な情報発信であり需要も低い本事業は、縮小、廃止、または担当職員の配置等の支出の増額を踏まえた改善の検討が必要。
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民自治の向上 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 社会情勢及び庁内のデジタル化の進展を踏まえ、今後の事業について検討の必要がある。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 社会情勢及び庁内のデジタル化の進展を踏まえ、今後の市政情報の提供のあり方に係る情報を収集する。